



国際会議 海外派遣・留学 主要外国人の来訪 国際協力協定 余剰兵器解体プルトニウム処分協力

1. 国際会議

1.1 国内

期 間	開 催 場 所	会 議 名 及 び 内 容
2003年 4月24, 25日	大 洗	「JNC/FZK (独国カールスルーエ国立研究所) 鉛ビスマス中鉄鋼材料耐食性評価会合」
5月7, 8日	大 洗	「JNC/SNL (米国エネルギー省サンディア国立研究所) 地層処分システムの性能評価及び実験的研究に関する会合」
5月19～27日	大 洗	「JNC/NNC (カザフスタン共和国国立原子力センター) との IGR 炉を用いた試験技術会議」
5月27, 28日	東 海	「JNC/LBNL (米国エネルギー省ローレンスパークレー国立研究所) 放射性廃棄物の地層処分に関する会合」
5月28～30日	大 洗	「JNC/CEA (仏国原子力庁) 次世代コード開発に関する会合」

1.2 国外

期 間	開 催 場 所	会 議 名 及 び 内 容
2003年 4月29日	露 国 クルチャトフ	「JNC/NNC(カザフスタン国立原子力センター) FBR安全性に関するプロジェクト会議」
6月2～5日	仏 国 パリ エクサンプロバンス	「JNC/CEA 構造健全性と免震技術に関する専門家会合」
6月24～26日	露 国 デミトロフグラード	「JNC/RIAR (露国原子炉研究所) BOR 60照射試験に関する技術会合」
6月25～27日	仏 国 エクサンプロバンス	「JNC/CEA 革新的な炉心及びプラント設計に関する専門家会合」
6月29～7月1日	露 国 セントピーターズブルグ	「JNC/KRI (露国フロービンラジウム研究所) アクチニド及び核分裂生成物分離・利用に関する情報交換会合」

2. 海外派遣・留学

派 遣 ・ 留 学 先	期 間	目 的
仏 国 世界原子力発電事業者協会 (WANO) パリセンター	2003年4月～2005年4月	運転者経験情報交換に関するプログラムの運営
仏 国 カダラッシュ研究所	2003年5月～2004年6月	高速炉概念検討の研究
仏 国 カダラッシュ研究所	2003年6月～2004年6月	長寿命核分裂生成物核変換に関する研究
米 国 ローレンスパークレー国立研究所	2003年6月～2004年6月	放射性廃棄物処分に係る水理地質構造モデルの信頼性確認手法の研究

3. 主要外国人の来訪

訪 問 日	訪 問 場 所	訪 問 者
2003年 5月21日	大 洗	カザフスタン国立原子力センター（NNC） トゥクパトゥーリン総裁
5月28～30日	大 洗	仏国原子力庁（CEA）ゴージェ原子力技術開発副本部長

4. 国際協力協定 特になし

5. 余剰兵器解体プルトニウム（解体プル）処分 協力

- (1) 余剰核兵器解体プルトニウム処分のための
BN600用 MOX 振動充てん燃料集合体 3 体の製
造及び照射実証試験に関する共同研究
ロシア原子炉科学研究所（RIAR）との共同研究
契約に基づき、4月から1体の燃料集合体の照射
後試験を実施している。外観検査の後、解体し、
現在燃料ピンの非破壊試験を実施している。

(2) 振動充てん MOX 燃料を装荷した BN600ハイ ブリッド炉心の安全解析に関する共同研究

ロシア物理エネルギー研究所（IPPE）との共同
研究契約に基づき、BN600のハイブリッド炉心化
に際しての安全性について評価及び解析を実施し
ている。

(3) ロシア余剰核兵器解体プルトニウムを用いた 振動充てん燃料製造に関する共同研究

RIAR との共同研究契約に基づき、BN600ハイブ
リッド炉心へ燃料供給する設備の改造を実施して
いる。

（本社：国際・核物質管理部）